

虹ヶ丘新聞

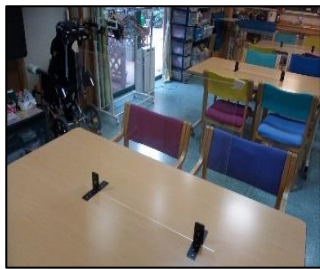
第70号

ホームのようなまち
まちのようなホーム

発行/社会福祉法人与謝郡福祉会
高齢者総合福祉施設 虹ヶ丘
編集責任者/石本 晃一
住所:京都市与謝郡与謝野町字岩屋600番地3
TEL:0772-43-2011
E-Mail:nijigaoka@yofuku.or.jp
URL:http://yofuku.or.jp/nijigaoka/

『新型コロナウイルス対応』

全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が進んでおり、まだまだ感染対策が必要な日々が続きます。マスクの着用、手洗い等の実施、不用な外出を控えるなど当施設においても様々な感染予防対策を行っています。



各フロアには手作りのアクリル板を設置するなど飛沫感染の防止に努め、ご入居者への面会は会議室を使った予約制の面会と、LINE等を利用したWEB面会という二通りの形で受け入れを行っています。特にWEB面会は遠方のご家族の間では非常に優れたものです。先月

も遠方の息子さま夫婦とLINEを使ってご面会される方がいらっしやいました。

まだまだ新型コロナウイルスへの対応が求められる中で、ご入居者、ご家族の皆さまには今後もご不便をおかけすることと思いますが、できる限りの対策を取りながら感染防止に努めてまいります。(相談員)

『西3番組だより』



西三番組では春になると毎年夏野菜を植えています。今年も野菜作りの好きな94歳のご入居者と一緒

にじゃが芋の種芋を植えました。いろいろと教えていただきながら土を盛ったり、草を取ったり、肥料をあげたり、芽掻きをされるなど、毎日気にかけて手入れをしていただき、6月下旬に無事、皆さまと一緒に芋掘りをすることができました。「ええ芋ができたな」と笑顔いっぱいでした。



このじゃが芋を使用して、7月22日に収穫祭としてカレーライス・ポテトサラダを作りました。皮剥きは皆さまに手伝っていただき、とても美味しいカレーライスができました。また一緒に植えている、スイカやメロンも大きくなってきているので、すいか割りなどをして、皆さまとこの夏を楽しみたいと考えています。(西3番組)



『新しい家族』東2番組

皆さまこんにちは。東2番組です。今回は東2番組の新しい家族を紹介したいと思います。

今年は、新型コロナウイルスの関係で、外出や外食など楽しみの機会が減っており、ご入居者も刺激の少ない日々を過ごされています。そんなご入居者の姿を見て、職員間で話し合いを行い、東2番組に新しい家族を迎え入れることとなりました。

新しく東2番組に来てくれたのは・・・セキセイインコです。名前は【リン】 男の子です。この名前は、ご入居者に候補を聞いて、「『ピー太郎』『照太』『リン』という3つの名前の候



をユニットで開きました。毎日りんちゃんを囲んで楽しい時間を過ごしています。(東2番組)

虹ヶ丘サービスをご利用の皆様へ満足度アンケートのお願い

虹ヶ丘では、サービスの質の向上のため、年に一度「満足度アンケート」調査を行っています。サービスをご利用されている皆さまからの率直なご意見をいただいて、よりご希望に沿えるサービスを目指していきます。

虹ヶ丘の各サービスをご利用されている皆さまには、アンケート用紙をお届けさせていただいています。お忙しい中とは思いますが、是非ご協力のほど、よろしくお願いたします。

蕎麦打ち名人
特養にも登場!!



デイサー
ビスに続き、
西2番組で
も職員によ
る蕎麦打ち
を6月に行
いました。
目の前での
本格的な蕎

麦打ちに、「昔は家で蕎麦打って食べたなあ」と懐かしそうに、また物珍しそうに見ておられる方もあり、打ち立ての蕎麦を茹でて、温かい蕎麦か冷たい蕎麦かを選んで食べていただきました。
皆さま「おいしいわ!」と仰り、とても良い笑顔が浮かべて、打ち立ての蕎麦に舌鼓を打っておられました。

また、今年
は職員が持つ
てきた梅で、
梅ジュース作
りをしまし
た。「昔はよう
したな」と
話しながら、
ご入居者3人
で一生懸命梅



の黒いヘタを取り除き下ごしらえしてくれました。近いうちに皆さんに美味しくできあがった梅ジュースを炭酸で割って提供したいと思います。
(西2番組)

夏を彩る壁画びん



新型コロナ
ウィルスの影
響により外出
の自粛が続い
ておりますが、
デイサービス
をご利用の皆
さまからも、「
外に出たいけ

ど、コロナで仕方ないな」と少し諦めのようなお話を聞くこともありま
す。そんな中、
少しでも季節
を感じていた
だけのように
と、金魚や花火
などの壁飾り
を作成してい
ます。「早く外
出ができます
ように」という
みんなの願いを込めて作りました!!
(デイサービス)



『三あわしま祭』

毎年恒例ですが、『神宮寺』では、7月に「あわしま祭」が開催されます。非常に歴史のあるお祭りです。最近では石川区の青年会や、夢織りの郷さん、野田川良い町づくりの会さんなども模擬店を出店され、賑やかに祭りを開催してきました。しかし今年は新型コロナウイルス感染予防のため、あわしま祭も地域の皆さまの安全を第一に考えて中止となりました。

とはいえ、何も祭りを行わないというのもとても寂しいので、せめてふれあいホーム神宮寺の中だけで、あわしま祭が行えないかと考え、祭り当日である7月13日に、当日通いのご利用者と職員でささやかではあります祭りを行いました。

前日から本堂の掃除をして、障子を貼り替え、当日にはあわしま祭の提灯とお花を用意し準備万端。昼食は祭りらしく、ばら寿司や刺身の盛り合わせで豪華に。午後からは皆さま



で般若心経やご詠歌をあげていただきました。

例年あわしま祭は夕方から始まるため、なかなかご利用者に参加していただけません。日中に行えたことで、ご利用者にもささやかながら、お祭りの雰囲気を感じていただけたと思います。こんなあわしま祭りの年があっても良いな」と少し思いました。
(神宮寺)

こんなこと始めました

「ご利用者の誕生日に何かお祝いをしたいですね」と、あるヘルパーの提案が形になりました。

私たちヘルパーはご利用者のお宅を一人で訪問するので、ヘルパー全員がそろってできることは無いかと知恵を絞り、ビデオレターを作成してみることにしました。初めての動画撮影でカメラの前で笑顔が引きつりながらも：お祝いの気持ちを入れて作りました。誕生月には皆さまのお宅へ動画と共に私たちの思いをお届けします。どうぞお楽しみにしててください。(ヘルパー)

